

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : カスケディア・コミュニティ・カレッジ

留学期間 : 平成 28 年 3 月 12 日 ~ 平成 28 年 12 月 29 日

私は、私が通っている日本の専門学校の留学プログラムを利用して約 10 か月間、アメリカのシアトルへ留学しました。私の通ったカスケディア コミュニティーカレッジは学校の施設は綺麗で整備されていて、自然も身近にありとてもいい環境の中にあります。静かでとてもいい学生生活をこの学校で送れたと感じています。この学校では、私は ELP の授業を他の国からの留学生も含めて受けていました。取っていた授業は、writing、reading、そして listening & speaking でした。学力によってクラス分けがされ、レベルによって難しさもスピードも内容も先生も異なっていました。特に印象深いのが、listening & speaking のプレゼンテーションです。日本語でも、大勢の前に一人で立ち、パワーポイントを使ってプレゼンテーションすることはとても難しいと感じていました。ですが、何回もプレゼンテーションをこなすことで、speaking の力はもちろん、どのようにしたら集中して聞いてもらえるか、どのようにしたら美しいパワーポイントが作れるかを学びました。最後には何の恥じらいもなく、英語が完璧でなくても、人前に立ちプレゼンテーションをこなしている自分がありました。実はこのように何かを成功させたり達成させたりするには人以上の「努力」が必要だということに改めて実感しました。プレゼンテーションがうまくいようになったのも、何回も繰り返し練習しパワーポイント作りにもなるべく手を抜かないように努力したからだと思っています。

ホストファミリーとうまくいかなかったこともありました。はじめの 6 か月間はかなりホストファミリーとの関係で悩みました。はじめは「上手いかないののはきっと彼らが私になにもしてくれないからだ」という考え方をしていました。ですがそれは間違っていて自分から何もしてないからだということに気が付きました。その時に、ただ文句を言うのではなく、なぜ彼らとうまくいかないのか、なぜ彼らとの間に溝ができてしまったのかを考えました。関係が良い方向へ進むようにコミュニケーションを多く取ったり、時には本音をぶつけ合ったりし自分から何かアクションを起こすように努力しました。そうすると、次第に関係が良くなっていき、お互いに笑顔が増えました。

私はこの留学で勉強のことだけでなくその他のこともたくさん学びました。留学中に起きたことは全ていいことではなく、むしろ辛く悲しくそして悔しいことがたくさんありました。「なぜ自分だけうまくいかないのだろう」と悩んだ時期もあったし、帰国してしまいたいとさえ思ったこともありました。ですが、問題を乗り越えるためには自分で気持ちを落ち着け、前を向き続けたいいけないということに気付かされました。異国で生活し色々なことを乗り越えていくということはこんなにも困難で考えさせられるものなのかと本当に感じました。ですが、その苦しかった分とても成長出来たと思っています。留学で苦しい問題にあわなかったら、こんなにも家族や友達が大切なものなのか、こんなにも自分からアクションを起こすことが必要なのか、そしてこんなにも人に自分が思っていることや考えていることを伝えることが大切なのか気づかなかっただしょう。これらのことに気付かせてくれた一つひとつの出来事に今は感謝の気持ちでいっぱいです。もちろん、問題を乗り越え

肩の荷が下りたときには、人の何倍も喜び自分が頑張ってきたことは間違っていないと実感でき、そして次もまた頑張ろうというポジティブな考えを持つことができました。この達成感と嬉しさはいつまでたっても忘れることはできないでしょう。私は将来、海外で就職したいと考えています。それに向けてもこの留学の経験はかけがえのないものになるだろうし、また仕事を始めてから、苦しい困難にぶち当たった時にどうやって解決していくかを少し学んだ気がします。私は、勉強や英語だけでなく、その人がどのようにこのグローバルな世界で活躍できるか、そしてどのようにして強くなれるかを、留学を通して学べると思います。私がこの留学で感じたこと学んだことが多くの方に通じることを願っています。